

ナシのサクセスキクイムシによる果実被害と防除

ナシの果実を加害するキクイムシ類には①サクセスキクイムシ②サクキクイムシ③ハンノキキクイムシの3種がいる。ここでは、サクセスキクイムシによる果実被害の特徴と防除のポイントを紹介する。

果実被害の特徴

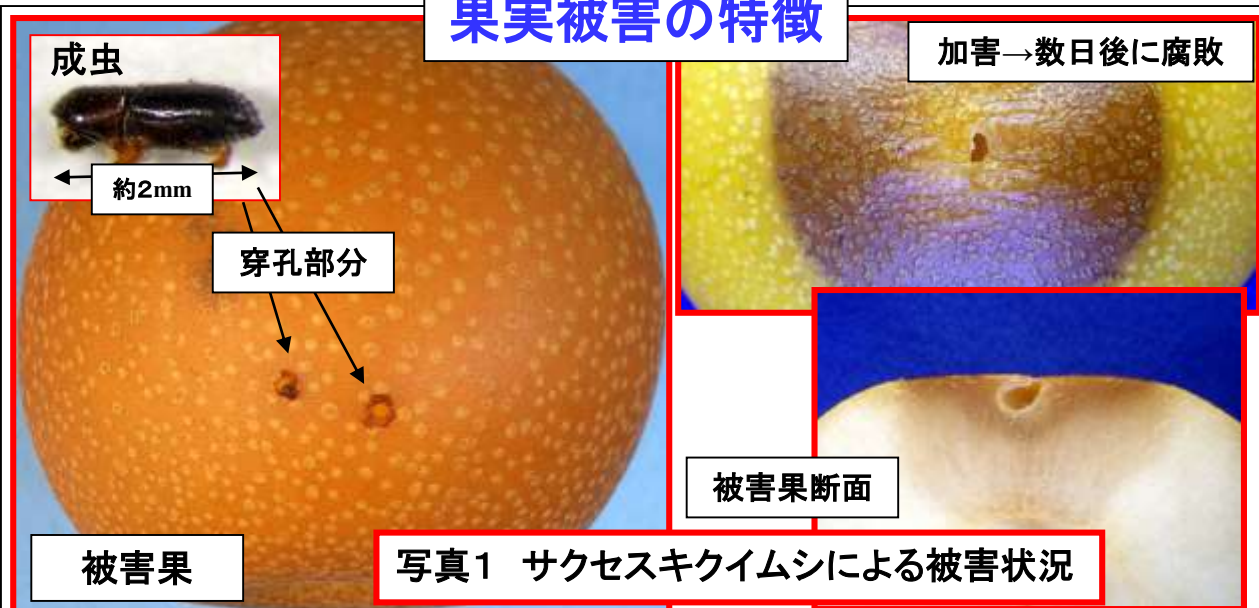


写真2 果実吸蛾類による被害果



・成虫が、写真1のように、約1mm程度の丸い穴を開けながら穿孔し、やがてその穴を中心に腐敗する。
・よく似た被害に、果実吸蛾類による被害(写真2)がある。吸蛾の場合はキクイムシに比べ、中心部の穴がより小さく、被害部中心から周縁にかけてわずかに色が薄くなる特徴がある。

防除のポイント

1. 果実被害の発生時期: 8~9月
2. 防除時期(枝幹被害樹を対象)
成虫活動時期の4~5月
3. 有効薬剤(希釈倍数)
トラサイドA乳剤(200倍)

・発生量・時期は年次間差大
・果実被害発生後の薬剤防除での対応が困難
→園内の枝幹被害(発生源)をよく観察し、適期防除に努める。
・果実被害は、袋掛け後にも発生
・過熟果に被害が多い。
→適期収穫に努める！！